

廿二日私共其代表者トナツテ恰々鈴木文治氏が当帆スバハ
以テ以前、宿屋テ泊リテ居リシメ其久ヘ終タ久訪問致シテ
我々、決議ヲ交付シタノアリマス。夫レハ第二回、声明書ニ於
テ發表セラル居リシテ端ニ繰及シキ申上ケル必要ナリ思
ス。ハ云々決議ノスルハ不都合ト云々事ヲ詰ク且然ウ云
フ決議ヲスルトハ大會テ遺ルトシ即チ臨時大會要取其
他四項目ヲ舉ニ中央委員會ミ我々、決議ヲ交付シテア
リス。

其抗議、回答三十日正午ト云々事ニ決テ置キシタガ三十九
日ニ鈴木倉門長ニテ鳳軍十九年紙ヲ私ハ更取シキシ得シタ
ソレハ械械勞勤迫合外二十里合カニ天復火ノノ火ノ夕併下
三日外無イ事。詳細ナリ答ハヌル事。三月三日、中
央六連委員會テ開会夫レニ付シテ公密ヘテスル事。三月三日

云々只書面ノ又取シタ事。此事クシキシスノウシ給木
文治、遂ニ行カシム。

其行カシ時ニ於キシモコトハ私ハ皆サビニ十分御心事ナ出
来タニ共ドモ鈴木サン、出所遙退ト云々ニ就テモ我
公考ナシハナス。鈴木ガノ良イ人モ取巻連中ニ設
シ居ル者ハナリノベ入

ナシハナス其除名問題が提案サシシタ時ニ五計八、シヨニ結局
不成立。設シシタガ其時ニ鈴木氏議長トシテ表决シテ居リ
ス。但し議長ナシテモ表決シタクツテモ其結果ハ同じテア
三月カツト云々除名、決議文ニ賛成シテ居ル。私モラク鈴木
氏本意ハナリト存じテ神ヲ立ツラ丁度門司三徳
酒シテ居中。一ツ長文、電報送リテアリス。ソシ鈴木
勤務同體、誤解解、除、將來内滿充發展、タメニテ